

月食というのは、満月の日に「太陽-地球-月」がほぼ一直線に並び、その結果「地球の影」に満月が入り、地球から見ると満月の一部または全部が欠けて見える天文現象です。実は月食と日食を比べると、回数としては日食のほうがずっと多いのです。しかし、日食は地球上で見える範囲が非常に限定的なのに対し、月食は世界の広い範囲で見えます。ある地点で（たとえば東京で）一生のうちに会えるチャンスは、日食よりも月食のほうがずっと多いのはこの為です。

2023年10月29日（日曜日）の朝早く、日本列島で「部分月食」が見られます。東京での月食の様子をシミュレーションした動画をつくってみました。今回は早朝の月食で食分もわずかなので、あまり話題になっていないようです。しかし、せっかくの天文現象なので、日曜日の明け方、是非西の空の月を観望してみてください。

